会計		一般会計						案ページ	60~63	3 (単位	立:千円)
予算款		款 O2	O2 総務費 項 O1 総務管理費					目 02 会	計管理費		
事業名 会計管		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		所管	課・室	会計課					
区分					財	;	原内	訳			
		Ĵ	金額	国庫支出金	県支出金	分担 負担		使用料 手数料	その他	市債	一般財源
本	年度予算	算額	11,790	0	0		Ο		0 250	0	11,540
前年度予算		算額	10,238	0	0		Ο		0 300	0	9,938
増	増		1,552	0	0		0		0 🔺 50	0	1,602
特定財源の 説明 (諸)預金利子 250千円											
	目的・期待 する効果 市全体の会計事務の正確性の向上、迅速化および効率化のため、全庁職員の会計事務能力の向上を図るとともに、業務の改善に努めます。										事務能力
事業実施に 至る経緯・ 背景		☑ 法令等によるもの□ 市民、自治会等からの要望、提案等によるもの□ 市総合計画等によるもの□ 議会からの要望、提案等によるもの□ その他									
事業機要	市の公金取扱に適した金融取引の専門的機関である金融機関(指定金融機関、指定代理金融機関、収納代理金融機関)に、公金の収納もしくは支払事務を取り扱わせることにより、公金取扱いの迅速化、事故の防止および公金取扱いに要する経費の節減に努めてまいります。また、コンビニ収納により金融機関の営業時間外でも納付が可能となり、住民の利便性と収納率の向上を図ります。										
<u></u> 主	ĺ	節番号・	• 名称					 等			金額
エな	12 役務										1,923
	12 役務										2,182
事				指定金融機関総括事務手数料 コンビニ収納事務手数料							1,080 2,819
業											
費											
内											
訳											

会計		一般会計					議案ページ	274~2	75 (単位	立:千円)	
予算 款 1 ·		1 公債費	項(O1 公債費			目 02 利	子			
事業名一時借力			昔入金利子			所	管課•室	会計課			
区分金額		金額			財		内 訳				
E /5				国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源	
本年度予算額			5,116	0	0	(0	0 0	0	5,116	
前年度予算額			3,503	0	0	(O	0 0	0	3,503	
増		減	1,613	0	0	•	O	0 0	0	1,613	
特定的	定財源の明										
	的・期待 一般会計において、受入と支払のタイミングのずれによって発生する一時的な現金不足を る効果 補うため、金融機関から借入をします。										
事業実施に □ 至る経緯・□ 背景			法令等によるも 市総合計画等に 議会からの要望	よるもの			市民、自治 職員提案等 その他	会等からの要! によるもの	望、提案等に	こよるもの)	
事業概概	(継続) 一時借入金利子 5,116千円 市には、市民からお預かりする市税や国からの交付税など、様々な収入がありますが、1年をとおして見ると、多い時もあれば少ない時もあります。また、支払いが多い時には収入も多いかというと、必ずしもそうではありません。一時借入金は、このように現金が不足した場合などに支払を滞りなく行い、福祉や教育など市の仕事に影響が生じないようにするためのものです。 ただし、借入額が大きくなりすぎることを防ぐため、限度額(借入の最高額)が設けられており、本市の平成28年度限度額は40億円となっています。										
要	節番号•名称			細々節名称等金額						全額	
主な	23 償還金利子及び割引料 -			一時借入金利子							
事											
業											
青											
内											
訳											

ź	計	一般	会計			計	集案ページ	274~27	75 (単位	立:千円)		
3	予算 款 12 諸支出		協 項 O1 積立金			E	目 01 積立金					
事	業名	基金科	責立金			所管	意課•室	会計課				
						財	源内	訳				
区分			金額	国庫支出金	県支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	その他	市債	一般財源		
本年度予算額 7,78			7,789	0	0	0	0	7,789	0	0		
前	年度予	算額	7,789	0	0	0	0	7,789	0	0		
増		減	O	0	0	0	0	O	0	0		
特定説明	定財源の (諸)各基金運用収入 7,789千円											
	基金は、条例で定める目的に応じて、確実かつ効率的に運用しなければならない とされており、今後の資金需要を考慮しながら、元本が保証された大口定期預金等の 定期性預金で運用し、その運用収入を基金に積立します。											
図 法令等によるもの							は員提案等に	等からの要 <u>い</u> よるもの	豊、提案等に	こよるもの)		
事業概要	(継続	静	立金	7, 789)千円							
主	節番号•名称									金額		
エな				財政調整積立 3,								
	25 積立金			域債基金積立		579						
事	25 積立金			長興基金積立						3,024		
業												
費			+									
内												
訳												